

海況速報

平成 16 年度 第 3 号 (通算 No.99)
平成 16 年 8 月 20 日
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境部
Tel 0135-23-4020

7月下旬から8月上旬の海況

日本海海域

積丹周辺高水温

200m 層の水温分布を見ると、前回 (6 月) に引き続き岩内西方に暖水渦が見えています (200m 層 5 以上)。また、天売・焼尻西方沖にも暖水渦が見えています。岩内西方沖の暖水渦と、天売・焼尻西方の暖水渦の東側では渦の中心に比べ水温が低く 4 以下となっています。対馬暖流は津軽海峡西方沖から北海道沿岸側に近づいた後、積丹半島西方沖をやや西に広がりながら北上し、武蔵礁西方から礼文島西方を北上しています。暖流流量は平年よりやや少なくなっています。水温偏差についてみると、積丹半島沖観測線 (43-30N) で水温の高いところが多く、表面水温が平年より 3 ~ 5 高いところがあります。また、石狩湾付近の 50m 層水温が平年より 4 ~ 7 高くなっています。松前西方沖では 50m 層以深で水温が低いところが多くなっています。

余市における 6 月中旬以降 8 月中旬までの沿岸水温 (旬平均) は、「平年並み」 ~ 「やや高い」で推移しています。

道東太平洋海域

道東沿岸流

前回 (6 月) まで道東沖に見られた暖水塊は東へ移動し、今回の観測海域からは見えなくなりました。道東海域は広く親潮に覆われていますが、沿岸では宗谷暖流水起源の道東沿岸流 (*1) が根室半島沖から襟裳岬へ向かって流れています。水温偏差についてみると、道東沿岸流の流域で平年より高いところが多く、50m 層では平年より 0 ~ 4 高くなっています。その他は平年並みのところが多くなっています。

道南太平洋海域

津軽暖流水温高い

100m 層で 10 以上の津軽暖流は 襟裳岬南西方の 143-00E 付近まで張り出しており、渦モード (*2) となっています。白老沖から苫小牧沖では 50m 層で 10 以上と津軽暖流水に覆われており、噴火湾口まで達しているようです。水温偏差についてみると、50m より浅いところで水温の高いところが多く、特に津軽暖流流域で高くなっています。

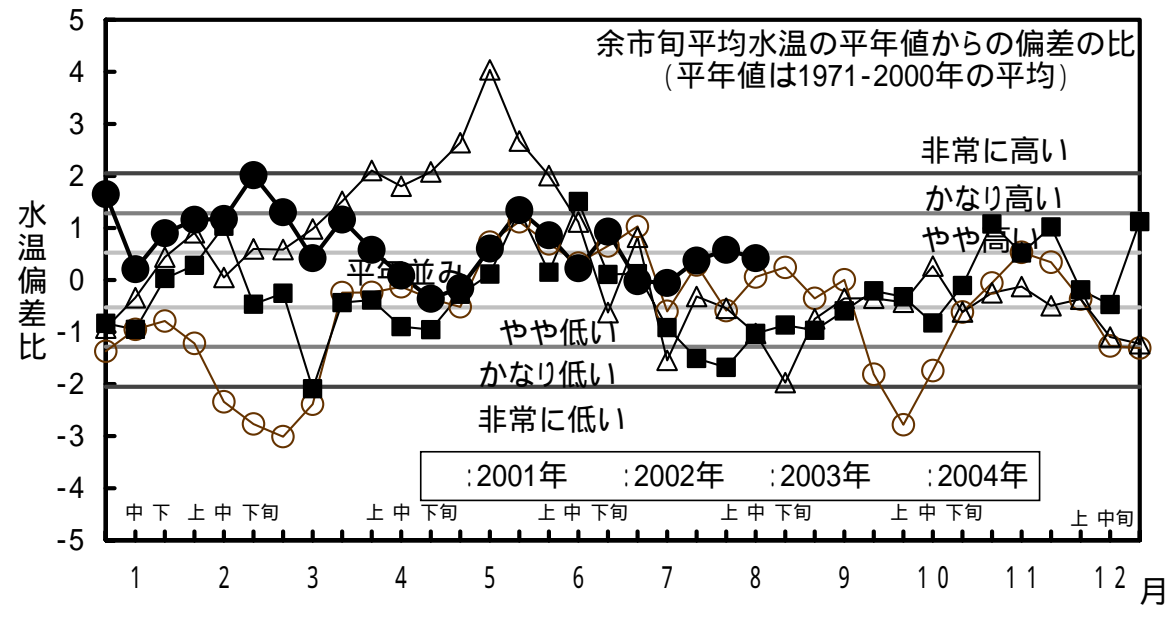
オホーツク海海域

冷水帯出現

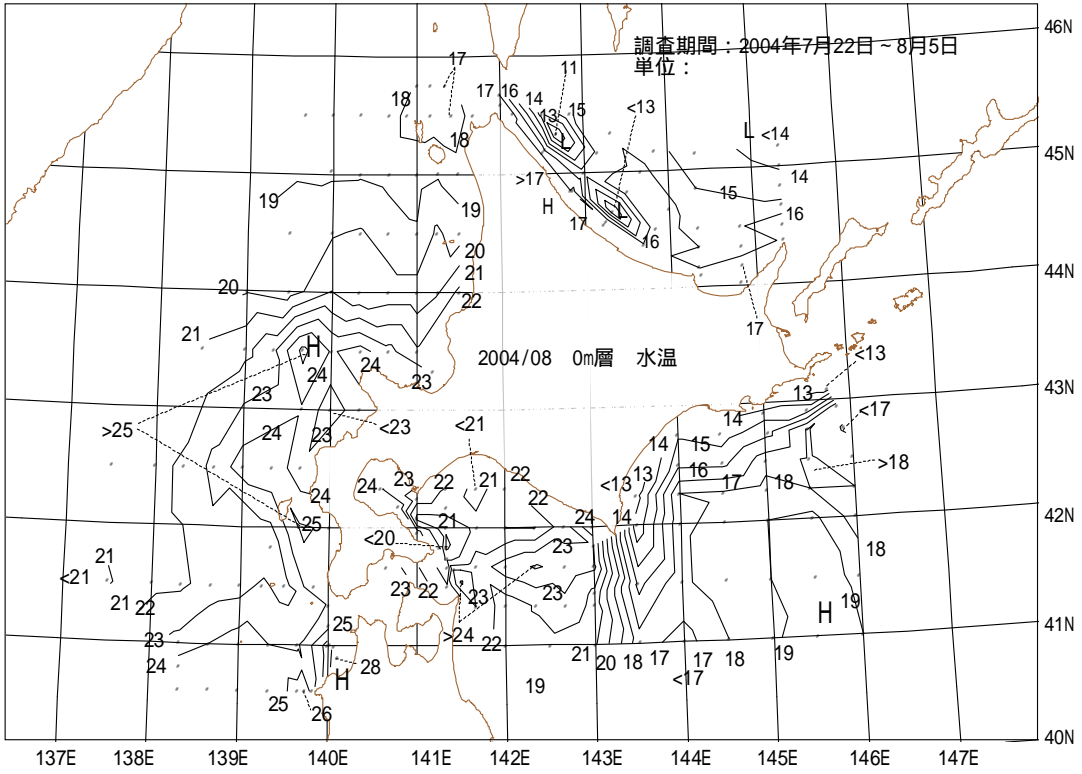
沿岸域の表面水温は紋別沖までは 17 以上、そこから知床岬までは 16 以上となり、宗谷暖流は順調に流れているようです。沖合では表面水温が 13 以下の冷水帯が紋別沖までパッチ状に観測されています。水温偏差についてみると、表面水温は昨年同期より 3 ~ 4 高いところが多くなっていますが、累年平均と比べると全体的に平年並みとなっています。

資料	観測期間	観測海域
青森水セ（青鵬丸）	2004/8/2-8/5	（東北日本海海域）
中央水試（おやしお丸）	2004/7/22-7/25	（オホーツク海海域）
中央水試（おやしお丸）	2004/7/26-8/2	（道北道西日本海海域）
釧路水試（北辰丸）	2004/7/26-7/29	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2004/7/27-7/29	（道南日本海海域）
函館水試（金星丸）	2004/7/30-8/1	（道南太平洋海域）

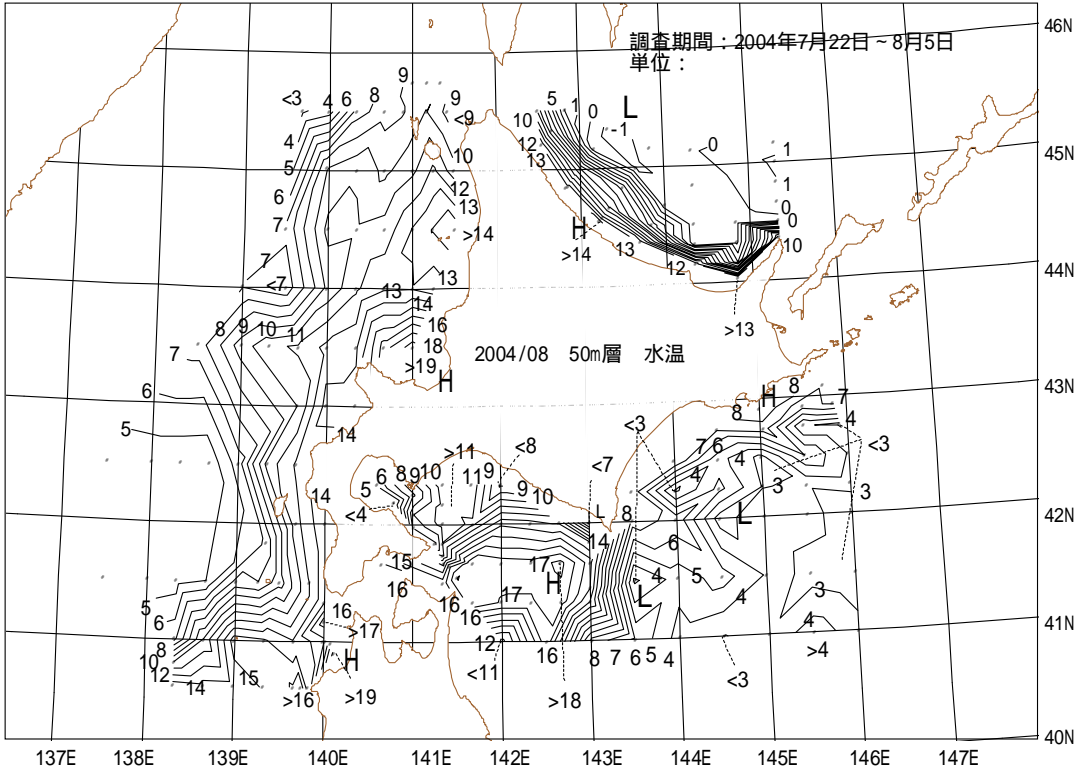
- * 1：夏～秋季に道東沿岸を流れるオホーツク海起源の沿岸流を道東沿岸流と呼んでいます。
- * 2：津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。
- * 青森水セは青森県水産総合研究センター（青森水試）の略です。



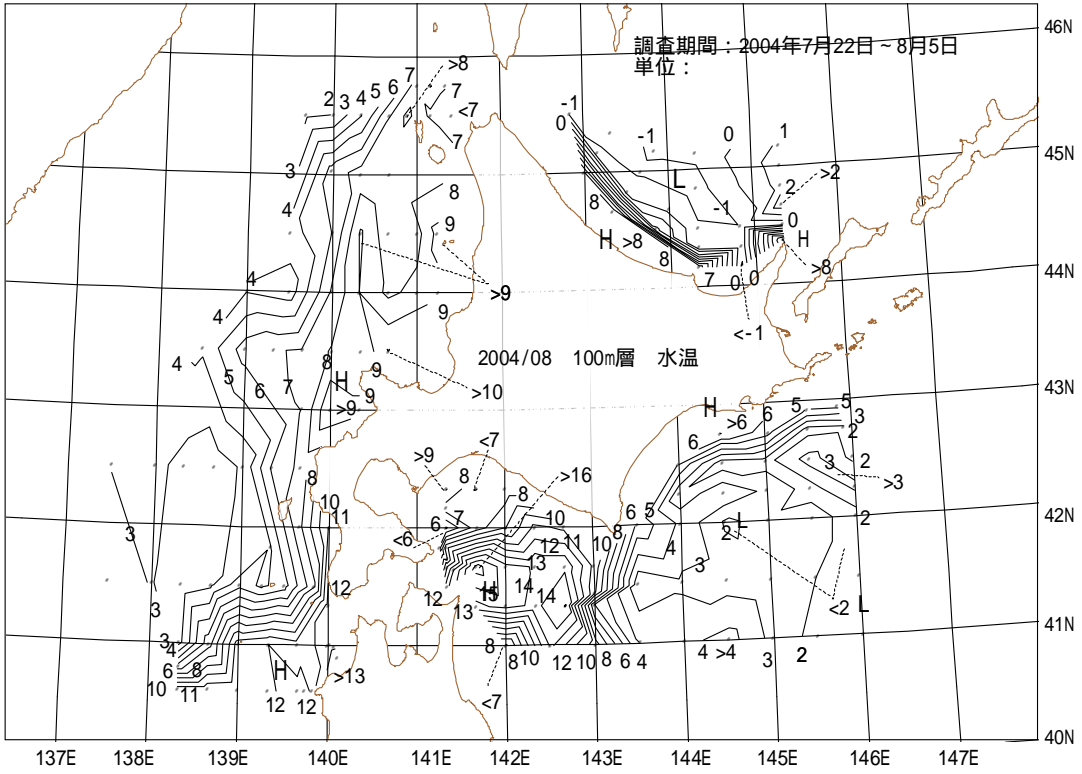
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

